

情報モラル教育通信

令和7年12月発行
佐賀市教育委員会 学校教育課

【保護者の皆様へ】

もうすぐ子どもたちが楽しみにしている冬休みです。友達や家族と楽しく過ごしたり、今年一年を振り返り、新年の目標を立てたりして有意義な時間になることを願っています。一方で、家で過ごすことが多くなることで、子どもたちがネットを利用する時間が増えてしまいがちです。また、ゲーム機にもSNSやネットが使用できる機能があるので注意が必要です。せっかくの冬休みにネット上のトラブルに巻き込まれないよう、以下の点についてご家庭で話題にしながら、ネットの使い方を確認しましょう。

「情報モラル」について、こうやって伝えよう

①ネット・情報機器の良い点、悪い点を伝えよう

良い点、悪い点を知ることが、便利なツールとして使うために大切なことです。



②「～してはダメ」ではなく「～しよう」で話そう

ネットや情報機器は、今後ますますなくてはならないツールになります。よりよく使える力を身につけさせたいものです。



③子どもがどんなふうに使っているか関心をもとう

ネットや情報機器は、大人の世界にダイレクトにつながります。高い関心をもって子どもを守りましょう。



④ネット・情報機器の事件を話題にしよう

日々変化していくのが、ネットや情報機器の社会です。積極的に話題にすることが、身を守ることにつながります。



⑤家庭でのルールを作り守っていこう

ルールや約束事をしっかりと作り、安全かつ快適にネットや情報機器を利用していけるようにしましょう。



⑥何でも相談できる雰囲気づくりをしよう

危険や落とし穴への警戒だけでなく、マナーや上手な使い方など、何でも相談できる家族や大人がいることが大事です。



子どものスマホ利用を安全に！ネット犯罪から守るには？

インターネットを悪用した犯罪に、子どもが巻き込まれる事例が増加しています。様々な事例の中で子どもが被害を受けるばかりでなく、子ども自身が加害者となって犯罪に関わってしまうこともあります。

インターネットを利用した子どもへの犯罪事例には次のようなものがあります。

①危険な出会い

SNSで知り合った相手に悩み事相談をしていたところ、実際に会おうと誘われて会ってみると、相手の家に閉じ込められた。

②オンラインゲームでなりすまし

オンラインゲーム内で知り合った相手は同年代の同性だと話していたのに、実際は同年代でも同性でもなく、なりすましていた。

③恥ずかしい写真が出回る

友達グループのSNSに送り合った写真が知らないうちにインターネット上にアップロードされていた。

④特定されて付きまとい

SNSに自分の情報を発信していたら学校名や住所などを特定されて、知らない人につきまとわれるようになった。



便利なスマホやインターネットを安全に使っていくためにも、次のようなことをこの機会に考えたり、話し合ったりしてみましょう。

①インターネット上のトラブルについて話し合う。

トラブルや事件を知っておくことは、自分の身を守ることにつながります。

②親子で家庭のスマホ・インターネットルールをつくる。

スマホやインターネットのルールやマナーについて話し合っておきましょう。

③フィルタリング機能を活用する。

便利なフィルタリング機能を活用して事前にブロックしましょう。

